

平成 31 年度

大学院工学研究科
(博士後期課程)

名古屋工業大学・ウーロンゴン大学
国際連携情報学専攻

学 生 募 集 要 項

インターネットを利用した出願方法に変わりました

国立大学法人

名古屋工業大学

国際連携専攻について

- 1 海外の大学と共同して教育課程を構成する大学院（国際連携専攻）とは
国内外の複数の大学が連携して教育研究資源を最大限に活用し、一つの大学では提供できない、より高度で革新的な、あるいはより魅力的なプログラムを行うことにより、学生に質や付加価値の高い学習機会を提供し、大学、国、企業・地域が意欲ある優秀な人材を得られるようにすることを目指すものです。そのため複数の大学共同で教育課程を実施し、連名で学位を授与するものです。
- 2 本共同大学院の主な特徴
 - (1) 名古屋工業大学（Nagoya Institute of Technology）とウーロンゴン大学（University of Wollongong, オーストラリア）の連名による学位が授与されます。
なお、学位の名称は、博士（学術）となります。
 - (2) 名古屋工業大学とウーロンゴン大学の両大学に在籍することになりますが、両大学から研究指導を担当する教員が配置され、幅広い観点で研究を行うこととなります。
 - (3) 本学で1年間の研究指導を受け、次いでオーストラリアで1年間の研究指導、帰国後、最終的に本学で学位申請し、両大学で組織する学位審査委員会で合格すれば、両大学の連名による学位が授与されます。
 - (4) 遠隔授業システムを活用して実施する共同創造セミナーにより、一人ひとりの学生に応じた研究指導を3年間行います。

重要なお知らせ

- 1 志願者は、名古屋工業大学、ウーロンゴン大学のいずれかに出願しますが、名古屋工業大学へ出願した志願者は、名古屋工業大学において入学試験を受験することとなります。この場合、入学手続、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、名古屋工業大学で取り扱います。
- 2 本国際連携情報学専攻において、名古屋工業大学とウーロンゴン大学を併願することはできません。
- 3 英語能力については、IELTS の各分野で 6.0、全体として IELTS アカデミックモジュール 6.5 以上を有することが望ましい。
- 4 入学の時期は、ウーロンゴン大学にて選抜された場合は平成 31 年 3 月、名古屋工業大学にて選抜された場合は平成 31 年 4 月となります。

平成 31 年度名古屋工業大学大学院工学研究科(博士後期課程)

名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻

学生募集要項

目 次

教育理念	1
アドミッション・ポリシー	1
カリキュラム・ポリシー	1
ディプロマ・ポリシー	2
1 募集専攻及び募集人員	3
2 出願資格	3
3 出願期間	4
4 出願手続	4
5 受験票のダウンロード及び印刷	9
6 障害等のある入学志願者との事前相談	9
7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請	9
8 入学者選抜方法	10
9 試験場	10
10 合格者発表及び入学手続	10
11 入学手続時に必要な経費	10
12 入試情報	11
13 指導教員等一覧	11
14 入学の時期	13
15 課程の修了の認定及び学位の授与	13
16 奨学金	13
17 安全保障輸出管理について	13
18 問い合わせ先	14

教育理念

名古屋工業大学では、『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。』ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学院博士後期課程

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れています。

大学院博士後期課程で学ぶ学生は修士の能力と工学の専門知識、技術革新への使命感をもち、本専攻の理念をよく理解し、情報技術の使命を果たす意欲をもつ人です。

- 1 修士課程を修了するか、あるいはこれと同等の能力をもつ人
- 2 志望する専門分野についての高度な専門知識とこれを活用して問題解決をする能力、新規で有用な研究を遂行する能力をもつ人
- 3 英語等によって学術論文を読解・叙述し、他者との専門的議論をすることのできるコミュニケーション力をもつ人
- 4 高度な情報技術を基に、国際的な舞台において新たな社会の創造を先導することに強い意欲をもつ人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

大学院博士後期課程

本専攻は技術革新への使命感、倫理観等の基本的態度及び情報学分野の専門知識と研究遂行能力を前提とし、その上で超スマート社会に資する研究に取り組み、未来社会をつくりだす人材を育成します。そのため、次の3項目を基本ポリシー（カリキュラム・ポリシー）とします。

- 1 国際社会の課題を技術的側面から理解し、産業社会の将来像を展望できる能力を身につけること。

- 2 情報学分野での深い専門知識と超スマート社会実現に向けた技術に関する幅広い関心・洞察力を身につけさせること。
- 3 高い独創性と強い研究推進能力によってイノベーションを牽引する能力を身につけさせること。

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

大学院博士後期課程

本専攻を修了する学生は次の能力を修得する必要があります。

- 1 国際社会の課題を技術的側面から理解し、産業社会の将来像を展望できる能力
- 2 情報学分野での深い専門知識と超スマート社会実現に向けた技術に関する幅広い関心・洞察力
- 3 高い独創性と強い研究推進能力によってイノベーションを牽引する能力

平成 31 年度 名古屋工業大学大学院工学研究科(博士後期課程)

名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻 学生募集要項

名古屋工業大学大学院工学研究科(博士後期課程)名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻の学生のうち、名古屋工業大学で教育・研究を開始するもの1名を次のとおり募集します。

1 募集専攻及び募集人員

募集専攻	募集人員	
	名古屋工業大学	ウーロンゴン大学
名古屋工業大学・ウーロンゴン大学 国際連携情報学専攻	1名	1名

2 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位(学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則(昭和28年文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。)を有する者及び平成31年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を平成31年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を平成31年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を31年3月31日までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位に相当する学位を平成31年3月31日までに取得見込みの者
- (6) 外国の学校、第四号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育

における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

(8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

注 1：出願資格 (6) により出願する者は、15 ページの「出願資格 (6) の出願について」を参照してください。

注 2：出願資格 (7) により出願する者は、15 ページの「出願資格 (7) の出願について」を参照してください。

注 3：出願資格 (8) により出願する者は、16 ページの「出願資格 (8) の出願について」を参照してください。

3 出 願 期 間

平成 30 年 7 月 17 日(火)～7 月 20 日(金)【20 日(金)16：00 必着】

注：インターネットを利用して出願情報の登録（システムへの入力）を行った後に出願書類を持参又は郵送により提出してください。持参の場合は、出願書類の受付時間は、9：00 から 16：00 までとします。郵送出願の場合は、7 月 20 日(金)16：00 必着とします。詳細は「4 出願手続」で確認してください。

なお、出願情報の登録（システムへの入力）が可能な期間は以下のとおりです。

平成 30 年 7 月 10 日(火)9：00～7 月 20 日(金)16：00

4 出 願 手 続

入学志願者は、次の(1)～(3)を十分確認のうえ、手続を行ってください。

【インターネットを利用した出願の流れ】

①入試制度の確認	本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、志願する専攻の出願資格・出願期間を確認します。
②出願情報の登録	インターネットに接続しているパソコンから、画面の指示に従って登録内容を入力します。
③出願情報の確認	登録した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できます。
④支払い方法の選択	検定料の支払い方法を選択します。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・銀行 ATM(ペイジー) ・ネットバンキング <u>※平成年 3 月に本学博士前期課程を修了する見込みの者の検定料は不要です。</u>
⑤検定料の支払い	選択した支払い方法に従って検定料を支払います。
⑥出願登録内容の印刷	出願確認票等を印刷します。

⑦出願書類の提出	⑥の出願登録内容の印刷物等を、7ページの「(2)出願書類」に記載のとおり名古屋工業大学へ提出し、出願完了
----------	--

注1：インターネットを利用した出願情報の登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に7ページの「(2)出願書類」に記載されている、出願確認票等を提出することで完了します。

注2：出願情報の登録中に次の操作を行った場合、又は、30分間次のページに進まなかった場合には、始めからやり直す必要がありますので、注意してください。

- ・ 出願登録完了前にブラウザを閉じた場合
- ・ 前の画面に戻る際、ブラウザの「戻る」ボタンを使用した場合

注3：インターネットを利用した出願情報の登録の際のパソコン推奨環境及びモバイル端末推奨環境は次のとおりです。

①パソコン推奨環境

ブラウザバージョン

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Google Chrome Internet Explorer 11.X Microsoft Edge ※Windows8.1・Windows10 をご利用の際は必ずデスクトップから起動してください。 ※Internet Explorer の互換表示モードは推奨環境ではなく、デザインが崩れるなどの可能性があります。	MacOS 10.6 以降 Safari Google Chrome

PDF 閲覧ソフトバージョン

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Adobe Acrobat Reader DC ※Windows8.1、Windows10 の「リーダー」は推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。	Adobe Acrobat Reader DC ※MacOS のプレビューは推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。

②モバイル端末推奨環境

※下記は推奨環境ですが、お使いの環境によっては一部機能が動作しないことがあります。その場合はパソコンをご使用ください。

OS バージョン

Android 環境の場合	iOS 環境の場合
Android 4.4.X 以降 Android Chrome (※1) 必ずスマートフォン画面上の Chrome のアイコンからブラウザを起動してください。 Google Play などからダウンロードしたアプリ (Chrome 除く) からのアクセスでは正常に動作しません。	iOS 9.X.X 以降 Safari (※2) 必ずスマートフォン画面上の Safari のアイコンからブラウザを起動してください。 App Store などからダウンロードしたアプリからのアクセスでは正常に動作しません。

(1) インターネットを利用した出願情報の登録及び検定料の支払いについて

- ① インターネットを利用した出願情報の登録及び検定料 30,000 円 (別途, 払込手数料 900 円) の支払いが必要となります。

インターネットを利用した出願情報の登録の手順は, 別ファイル「インターネット出願登録の手順案内」のとおりです。

- ② 出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等

ア 志望理由書等

出願情報の登録システムで作成する書類の他に「(2)出願書類」の「その他必要書類」に記載されている, 志望理由書等を出願期間内に提出する必要がありますので, 遅れないように準備してください。

イ 本人の顔写真データ

正面, 上半身, 無帽のもので出願前 3 か月以内に撮影した写真の画像データを準備しておいてください。システムに他の情報とともに登録します。

ウ 電子メールアドレス

電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。(この電子メールアドレス宛に, 出願情報登録完了等の確認メールを配信します。)

エ プリンター, 印刷用紙

A4 サイズの用紙が印刷できるプリンタ (モノクロ, カラーどちらでも可) が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。(出願情報の登録内容を印刷するために使用します。)

- ③ インターネットが利用できない場合

自宅や在籍する学校・大学等に, インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は, 14 ページ「18 問い合わせ先」まで相談してください。

注 1 : インターネット出願登録後, 7 ページ「(2)出願書類」の提出書類を提出することで, 出願手続完了となります。4 ページ「3 出願期間」の出願期間内に提出書類の提出がない場合,

出願未完了（登録データは無効）となり、受験ができませんので、注意してください。

注2：検定料の支払い方法、よくある質問など詳細については、下記【インターネット出願登録サイト】を確認してください。

【インターネット出願登録の手順案内】
 本学ホームページ>入試案内>インターネット出願

【インターネット出願登録サイト】
 本学ホームページ>入試案内>インターネット出願>インターネット出願登録サイト

(2) 出願書類

6 ページ(1)のインターネットを利用した出願情報の登録後、次の書類を取りそろえ、所定の期日までに本学入試課に提出してください。出願にあたっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。

郵送出願する場合は、市販の封筒（角形2号、縦 33cm×横 24cm）を用い、封筒表面に下表の②宛名ラベルを貼り付け、**書留速達で郵送**（宛先は、14 ページ「18 問い合わせ先」）してください。

なお、海外から出願する場合は、入試課へ問い合わせてください。

容の印刷物	① 出願確認票 (提出用)	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	② 宛名ラベル	インターネット出願登録後、印刷したものを出願書類提出用封筒に貼り付けてください。 持参出願する場合は、宛名ラベルを印刷して持参してください。 (封筒に貼り付ける必要はありません。)
その他必要書類	③ 志望理由書	「専攻の志望理由」及び「大学院入学後、研究したいテーマ・内容」を英語により 50 語程度で記入してください。志望理由書は、本学HP (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロード可能です。
	④ 成績証明書 (大学院) (コピー不可)	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程の成績証明書を提出してください。
	⑤ 成績証明書 (学部) (コピー不可)	出身大学が作成した成績証明書を提出してください。

その他必要書類	⑥学位取得(見込)証明書 (修了(見込)証明書) (コピー不可)	出身大学院が作成したものを提出してください。
	⑦ IELTS スコア	4 (3) ①を参照してください。
	⑧ IELTS スコア公式成績証明書返却用封筒	郵送出願する者のみ必要。 市販の封筒(長形3号, 23.5cm×12cm)に, 郵便番号, 受信場所, 氏名を記入し, 郵便切手(362円)を貼付してください。 ただし, 受信者が外国に居住する場合は, 国際スピード郵便(EMS)で送付するため, 航空便書状 100g 相当の国際返信切手券を同封してください。
	⑨ 修士論文の写し	修士を持っている者は, 修士論文の写しを提出してください。
	⑩ 研究経過の概要	これまでの研究経過の概要(英語で1,000語程度)を提出してください。研究経過の概要は, 本学HP (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロード可能です。
	⑪ 著書, 学術論文, 学術報告, 特許, 実用新案等の写し	出願資格(7)又は(8)に該当する者で左記のものがあれば提出してください。
	⑫ 住民票の写し又は在留カードの両面コピー	外国人は, <u>在留資格及び在留期間</u> が記載された住民票の写し又は在留カードの両面コピーを提出してください。在留資格を有しない者は, パスポートの写しを提出してください。

※入学資格審査のために提出した書類については, 出願時に再提出する必要はありません。

(3) 注意事項

- ① IELTS 公式成績証明書 (Test Report Form) の原本, 顔写真の載っているものを提出してください (コピーは不可)。
また, 提出された IELTS 公式成績証明書は, 出願書類受付後に返却します。
- ② 各証明書については, 英語以外で書かれたものは, 英語の訳文を添付してください。
- ③ 出願書類に不備がある場合は, 受理しません。
- ④ インターネット出願登録後, 出願事項の変更は認めません。ただし, 住所・電話番号等の変更が生じた場合は, 14 ページ「18 問い合わせ先」まで連絡してください。
- ⑤ 提出された出願書類は, 返還しません。
- ⑥ 既納の検定料は, 次のいずれかに該当する場合を除き, いかなる理由があっても返還しま

せん。

ア 支払ったが、出願書類を郵送しなかった場合

※ インターネット出願登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に出願書類を郵送することで完了します。

イ 支払ったが、出願書類の不備により出願が受理されなかった場合

ウ 誤って二重に支払った場合

⑦ 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

⑧ 本学入学者選抜に用いた個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、次のとおり取り扱います。

ア 今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。

イ 入学者選抜及び上記アの利用に当たっては、守秘義務等を締結した業者（以下、「業者」という。）の一部を委託する場合があります。

この場合、この業者に対して委託した業務の範囲内で、個人情報を提供します。

ウ 入学者については、入学者選抜に用いた個人情報を学籍等の教務関係、修学指導関係及び学生支援関係に関する業務を行うため利用します。

5 受験票のダウンロード及び印刷

受験票は、平成 30 年 7 月 27 日(金)からダウンロード及び印刷が可能となります。

インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロード及び印刷し、試験当日持参してください。

6 障害等のある入学志願者との事前相談

本学大学院に入学を志願する者で、学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める障害のあるもの又はその他の障害があるもののうち、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、出願の前に、下記により相談してください。

(1) 相談の時期及び方法

平成 30 年 6 月 22 日(金)までに相談する内容を文書又は電話等で連絡してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先

14 ページの「18 問い合わせ先」をお願いします。

7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請

受験時に来日する際、国によっては査証（ビザ）が必要になりますので、詳しくは、自国の日本大使館・領事館に確認してください。

本学を受験するために「短期滞在ビザ」を申請する場合、自己の責任で必要な条件を揃えて手続きを行ってください（本学が「招へい人」、「身元保証人」になることはできません）。

8 入学者選抜方法

入学者の選抜は、口述試験、面接、修士論文等の審査、成績証明書及び IELTS のスコアを総合して判定します。

(1) 入学者選抜

個別に、次の事項について審査します。

① 口述試験

提出された修士論文等（8 ページ、4(2)の⑨、⑩又は⑪）について、英語でプレゼンテーションを行い、研究内容及び専門知識について質問します。

詳細については、出願書類を受理後にお知らせします。

② 面接

研究意欲、人物等

(2) 選考時期

平成 30 年 8 月 27 日(月)

9 試験場

名古屋工業大学

詳細については、出願書類を受理後にお知らせします。

10 合格者発表及び入学手続

(1) 平成 30 年 9 月 7 日(金)10:00 に、本学のホームページ (<https://www.nitech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

なお、電話による問い合わせには一切応じません。

また受験票は入学手続時に必要なため、それまで必ず保管してください。

(2) 合格者（又は代理人）は、次の日時に入学手続を行ってください。入学手続日時までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

なお、平成 31 年 2 月上旬に送付する「入学手続要領」に基づき、郵送による入学手続を認めます。入学手続に必要な書類等は「入学手続要領」に同封します。

入学手続日時	入学手続会場
平成 31 年 3 月 22 日(金) 9:00~16:00	名古屋工業大学

11 入学手続時に必要な経費

入学料	282,000 円（予定額）	
授業料	年額 535,800 円 （予定額）	{ 前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

注1：平成31年3月に本学博士前期課程を修了した者の入学料は不要です。

2：入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。

3：授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。

4：授業料（前期分）を入学手続き時に納入しない場合は、平成31年4月1日(月)から4月30日(火)までに納入してください。

5：既納の入学料及び授業料は、返還しません。ただし、授業料については、入学手続き完了者が平成31年3月31日(日)までに入学を辞退した場合には、納入した者の申出により当該授業料相当額は、後日返還します。

6：入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除する制度があります。

12 入 試 情 報

平成31年度大学院博士後期課程に係る入試情報は、次の内容を開示します。

(1) 出願状況等

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を本学ホームページ及び入試課窓口で提供します。

(2) 試験成績

① 受験者本人の申請に基づき、次の事項を開示します。

総合評定（A, B, C）

ただし、入学者選抜において、欠席により選抜の対象外となった場合は、開示されません。

② 申請方法等

ア 申請期間

平成30年9月10日(月)～ 9月21日(金)

イ 申請方法

入試課窓口又は郵便で、「試験成績請求願」（本学指定の用紙）に、受験票及び成績送付用封筒（市販の角形2号封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、280円分の切手を貼付したもの）を添えて申請してください。

なお、郵便で申請する場合は、事前に入試課まで連絡してください。

③ 開示方法及び時期

平成30年10月上旬に申請者本人に郵送します。

13 指導教員等一覧

入学願書中の希望する教員名の記入にあたっては、以下の表を参照し、名古屋工業大学、ウーロンゴン大学、それぞれより1名ずつ記入してください。なお、ウーロンゴン大学の教員に関しては、名古屋工業大学側の教員と相談の上、決定し、記入してください。

名古屋工業大学

職名	氏名	現在の主要研究テーマ
教授	伊藤 孝行 (ITO, Takayuki)	1 マルチエージェントシステムに関する研究 2 オークションと計算論的メカニズムデザインに関する研究 3 グループ意思決定支援システムに関する研究
教授	犬塚 信博 (INUZUKA, Nobuhiro)	1 機械学習とデータマイニング 2 社会ネットワーク分析 3 知能技術を応用したシステム分析
教授	加藤 昇平 (KATO, Shohei)	1 機械学習及び推論処理に関する研究 2 知能・感性ロボティクスに関する研究 3 進化的計算・人工生命に関する研究
教授	竹内 一郎 (TAKEUCHI, Ichiro)	1 統計的機械学習 2 バイオインフォマティクス 3 データマイニング
教授	和田山 正 (WADAYAMA, Tadashi)	1 符号理論, 情報理論に関する研究 2 情報理論に関する研究 3 通信工学に関する研究
准教授	泉 泰介 (IZUMI, Taisuke)	1 アルゴリズム 2 ディペンダブル分散システム
准教授	打矢 隆弘 (UCHIYA, Takahiro)	1 サイバー社会を支える新しいソフトウェアの基盤の開発 2 広域分散環境を基盤とした応用知能ソフトウェアシステムの開発 3 エージェントシステムの設計方法論・開発/運用環境の構築
准教授	松井 俊浩 (MATSUI, Toshihiro)	1 マルチエージェントシステム 2 分散システム 3 協調問題解決・分散最適化

ウーロンゴン大学

職名	氏名	現在の主要研究テーマ
Professor	ZHANG Minjie	1 マルチエージェントシステム 2 分散意思決定支援
Professor	SUSILO Willy	1 情報セキュリティ 2 暗号化
Professor	MU Yi	1 情報セキュリティ 2 暗号化
Associate Professor	YAN Jun	1 サービスコンピューティング 2 知的ワークフローモデリング
Associate Professor	WANG Lei	1 画像処理 2 機械学習
Associate Professor	HAGENBUCHNER Markus	1 データマイニング 2 機械学習
Senior Lecturer	ZHOU Luping	1 医療画像処理 2 深層学習

Senior Lecturer	WARD Koren	1 知能ロボット 2 人工知能
Lecturer	REN Fenghui	1 マルチエージェントシステム 2 人工知能

14 入学の時期

平成 31 年 4 月

15 課程の修了の認定及び学位の授与

原則として本課程に 3 年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、名古屋工業大学とウーロンゴン大学の連名による下記の学位が授与されます。

なお、本専攻では、連携先大学に 1 年間留学することが必須の要件となります。

学位の名称	専攻分野の名称
博士	学術

16 奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、奨学金が貸与されます。

17 安全保障輸出管理について

名古屋工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

[参考] 「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」

<http://kisoku.web.nitech.ac.jp/houki/204042.htm>

経済産業省「安全保障貿易管理」

<http://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

18 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、Eメール又は電話等で行ってください。

〒466-8555 名古屋市昭和区ごきそちょう御器所町
名古屋工業大学 入試課
電話 (052) 735 - 5083
FAX (052) 735 - 5084
Eメール nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

出願資格(6)の出願について

- 1 出願資格(6)に定める「大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」は「博士論文研究基礎力審査」に相当する審査に合格した者です。
「博士論文研究基礎力審査」とは次の(1)及び(2)の試験及び審査をいいます。
 - (1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養についての試験
 - (2) 博士論文にかかる研究を主体的に遂行するために必要な能力についての審査
- 2 出願資格(6)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行います。
- 3 前記 2 の審査を受ける者は、7 ページの「4(2)出願書類」に示す④、⑩に加え、次に示す書類を平成 30 年 5 月 21 日(月)16:00 までに入試課に提出してください。
 - (1) 入学資格審査申請書(必ず英語で記入すること)
 - (2) 志望理由書(必ず英語で記入すること)
 - (3) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格したことの証明
 - (4) 当該審査の合格の基準
 - (5) 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料
 - (6) 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。
上記(2)の志望理由書は、本学HP (<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。
- 4 審査の結果は、平成 30 年 7 月 2 日(月)までに本人に通知します。
- 5 出願資格を認められた者には、審査結果通知の際に出願手続の詳細を連絡します。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

出願資格(7)の出願について

- 1 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」は、次の①及び③又は、②及び③の要件を満たす者です。
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者
 - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学研究所等において、2 年以上研究に従事した者
 - ③ 著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許、実用新案等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者
- 2 出願資格(7)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行います。
- 3 前記 2 の審査を受ける者は、7 ページの「4(2)出願書類」に示す⑩、⑪に加え、次に示す書類を平成 30 年 5 月 21 日(月)16:00 までに入試課に提出してください。
 - (1) 入学資格審査申請書(必ず英語で記入すること)
 - (2) 志望理由書(必ず英語で記入すること)
 - (3) 学部の成績証明書
 - (4) 学部の卒業証明書注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。
上記(2)の志望理由書は、本学HP (<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。
- 4 審査の結果は、平成 30 年 7 月 2 日(月)までに本人に通知します。
- 5 出願資格を認められた者には、審査結果通知の際に出願手続の詳細を連絡します。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

出願資格(8)の出願について

- 1 出願資格(8)に示す「本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに24歳に達するもの」の範囲は、①又は②の要件を満たす者です。
 - ① 大学を卒業した後、科学・技術関係分野で2年以上の業務経験を有し、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者
 - ② 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者及びその他教育施設の修了者等で、個別の学習歴や実務経験・国際的活動経験等の実務を有する者
- 2 出願資格(8)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行います。
- 3 前記により審査を受ける者は、7ページの「4(2)出願書類」に示す⑩、⑪に加え、次に示す書類を平成30年5月21日(月)16:00までに入試課に提出してください。

上記1-①により審査を受ける者

- (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
- (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
- (3) 学部の成績証明書
- (4) 学部の卒業証明書

注) 上記(1)、(2)の「本学所定の用紙」については入試課へ問い合わせてください。
上記(2)の志望理由書は、本学HP (<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。

上記1-②により審査を受ける者

- (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
 - (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
 - (3) 最終学校等の成績証明書
 - (4) 最終学歴の卒業証明書又は修了証明書
 - (5) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料（英文）
- 注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。

上記(2)の志望理由書は、本学HP (<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。

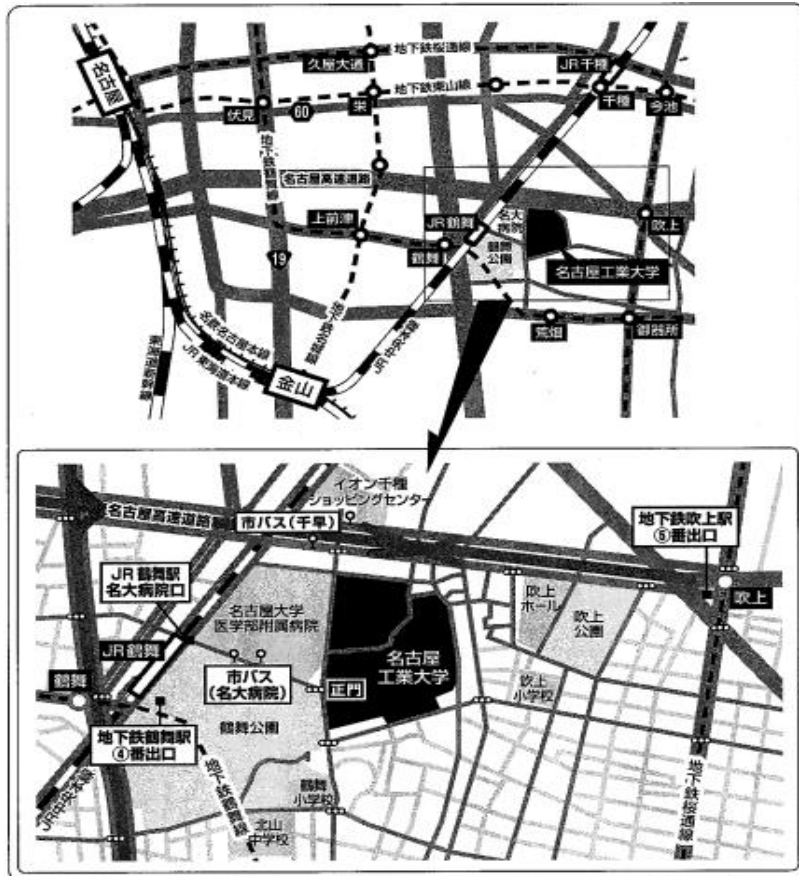
- 4 審査の結果は、平成30年7月2日(月)までに本人へ通知します。
- 5 出願資格を認められた者には、審査結果通知の際に出願手続の詳細を連絡します。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

名古屋工業大学への交通案内

JR 東海	中央本線	鶴舞駅下車 (名大病院口から東へ約 400m)
地下鉄	鶴舞線 (上小田井 ↔ 赤池)	鶴舞駅下車 (4 番出口から東へ約 500m)
	桜通線 (中村区役所 ↔ 徳重)	吹上駅下車 (5 番出口から西へ約 900m)
市バス	栄 18 (栄 ↔ 妙見町)	名大病院下車 (東へ約 200m)

注 1: 栄 18 は、市バスの系統番号

2: バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



名古屋工業大学入試課

名古屋市昭和区御器所町 (〒466-8555)

電話 (052) 735-5083

ホームページアドレス <https://www.nitech.ac.jp>